

# 速報 立山5号

## 北陸高校

北陸高校演劇部 作

### 「不機嫌な教室 2019」



#### ○幕間討論

- Q リアルさについて気をつけたことは？  
A 会話のテンポ。1～5群でクラス内の上下関係表現しました。
- Q 大道具を階段状に配置した理由は？  
A 教室では無く、クラスメイトの心情を表現し、パネルの色は登場人物の心情を表現しました。
- Q 作品を作る上で大変だった点は？  
A 役者全員が一年生で、役が足りずエキストラとして佐川役をエキストラとして頼んだ。前先輩からのアドバイスにある、声を出すことを意識した。また、意見がまとまらず部内で苦労したことがあった。
- Q 7人から6人になった後、ミキはどうなった？  
A 部内で様々な意見があるので想像におまかせします。
- Q 最後にミキの机を幕の外に出した意図は？  
A ミキが孤立したことを表現した。
- Q アカネのパフォーマンスで使用した曲を選んだ理由は？  
A アカネ役の齊藤さくらさんが好きだから。

北陸高校のみなさん、

お疲れ様でした！

#### ○あらすじ

学校内の生徒間の序列、「スクールカースト」。カースト最底辺のクルミは上位のミキたちから嫌がらせを受けていた。しかし、ある日スクールカーストをゆるがすところある出来事が起きて…！？  
何かあいつムカつくんだよなー。私は、あの子に嫌われたくない…  
あの子たちが怖い、イジられる…バカにされる、どうしよう、あの子を助きたい、でも、助けたら…。  
アカネに嫌われないように必死のミキ。ミキたちが怖いクルミ。  
ミスコン出場を押しつけられたクルミに同じクラスのタクミがある提案をする。  
スクールカーストをもとに生々しく女子の裏側を描き、それぞれの立場でいろんなものを抱えながら生きるそれぞれの方向性を少しシリアスに、少し面白く描いた作品

#### ○客席インタビュー

- ・人物の変化とともにいじめていた人の変化がリアルだった。
- ・舞台装置が人間関係の上下を表していてよかった。
- ・最後の展開にびっくりした。
- ・スクールカーストの上下が崩れていくのが怖かった。
- ・ミスコンの時の照明の抜き方、場面転換にこだわりがあった。